

学校法人佐久学園広報誌



佐久の薫風

No. 2

平成27年 4月30日発行

発行人 学校法人 佐久学園

編集人 学園通信編集委員会

<http://www.saku.ac.jp>



CONTENTS

教育・研究活動の紹介 … 2・3

事務局だより … 3

佐久大学信州短期大学部が変わります … 4

台湾介護研修プログラム … 4

退職教員紹介 … 5

卒業生・修了生 … 5

キャンパスピックス … 6・7

佐久学園から … 8

写真：大淵 律子

教育・研究活動の紹介

大学院看護学研究科

仕事と両立させて学ぶ

本学大学院修士課程では、看護職として実践の中で疑問に思っていること、解決したい課題を中心に、修士論文のテーマを決め、教員の助言を受けながら研究的な手法によって論文を作成してゆきます。研究領域としては、国際、教育、管理、母子、成人、老年・精神、地域・在宅の各看護学があります。

院生は、研究法や看護の理論や実践に関わる科目の授業も受け、2〜4年かけて学修します。そのプロセスは、院生にとって看護や実践を体系的に深く考える機会でもあります。本学では、2015年3月に第2期修了生4名が修士の学位を授与されて社会に出ました。本大学院の特徴は次のような点です。

○在職のまま就学可能な長期履修制度

2年間の修業年限では仕事との両立が難しい方も多く、ほとんどの院生が、3・4年間かけて計画的に履修する長期履修制度を利用しています。その場合でも学費は2年間分です。

○少人数学習での細やかな指導

院生一人に責任を持って修士論文を指導する教員が2名つきます。また、授業や学生生活に関しても、教員や上級学生が相談に乗ったり助言をします。授業も少人数でのグループワーク、課題のまとめ、プレゼンテーションなど、院生二人ずつに目配りした丁寧な履修指導をしています。

○国際的視点からの看護の理解

タイ、米国など海外の講師や国際活動の経験豊かな教員による授業は、日常的な視野から解放されてグローバルな視点で看護を考える機会となっています。

○学習環境の整備

院生専用の研究室はPCを備え、休日、夜間にも利用できます。また、図書館では、国内外の看護専門雑誌を閲覧し、研究論文を検索する文献データベースを利用できます。

○院生と教員の継続的つながり

様々な領域の経験豊かな教員や院生との交流の中で、職場や経験の違い

大学院カリキュラム1〜2年次共通

総合的分野	専門分野	
	総看護学	臨床看護学
共通科目	地域看護学	看護学特別研究



佐久学園には4つの教育課程があり、それぞれが教育目標に向かって特色ある教育に取り組んでいます。

を超えた多彩な指導者・仲間に出会え、大学院修了後も継続するつながりが深まります。この経験は、自身のキャリア開発や専門職としての仕事に役立つでしょう。

看護学部看護学科

皆で乗り越えよう「悩み多き時代」

青年期はおとなへの入り口であり、悩みの多い時代です。友人関係の希薄化や生活経験の乏しさは、悩みを深めてしまいます。高校生までは用意された環境で過ごしてきた学生にとって、大学は自分で課題を見出し学修していかなくてはならず、その転換は容易なことではありません。

そこで本学看護学科では、グループチューター制をとっています。

複数の教員と全学年混合の約40名弱の学生が二つのグループを作っています。グループチューター制は新生入生にとって仲間を得る機会になり、早い時期に自分の居場所を見つけ、大学生活に必要な情報を得やすくします。

2〜4年次生にとっては、自分たちの経験を先輩に伝え後輩を援助することによって自分自身の経験を確かなものにする事ができます。他者と協働する力を養うことも意図しています。

グループチューター制では、各グループを数人の教員が担当しているので学生は相談しやすい教員ができ、実習中で教員が大学に不在になる時期にもグループ担当の誰かが必ず学内で相談にのることができる体制を作っています。この体制によって、できるだけ細やかな学生支援をしたいと考えています。

昨年度からグループ活動費が予算化され活動は活発化しました。グループチューター活動が「学生と共に大学の伝統を創っていくものになるよう運営方法を模索しています。」

教員は、できるだけ学生同士が

交流し、自主的活動を通して自身の課題や将来の目標を見出していくことができるよう支援しています。グループチューター制の効果が見えるまでには少し時間がかかりますが、学生時代に仲間や先輩、後輩、教員との豊かな関係の中で培った力が社会に出て発揮できるように願っています。



チューターグループのお花見

別科助産専攻

女性の生き方を支援する

本学別科助産専攻は2009年の開設以来、地域社会の中で母子保健の発展向上を担える助産師教育に力を注いできました。母と子二つの命に寄り添い、女性と家族、乳幼児の健康を支える力を養えるカリキュラムを組み助産師を養成しています。これまでに修了した87名が助産師として活躍しています。

別科助産専攻は佐久大学の理念



新生児蘇生法講習会

の基、真理を探究できる自律した助産師を育成するため、実習現場のご指導をいただきながら前進してきました。佐久市市民健康部、佐久総合病院佐久医療センター、浅間総合病院、篠ノ井総合病院、花岡レディースクリニック、助産所とうみ、助産所はやほや等多くの施設に実習を担っていただいています。実習施設のご協力もあり、また、充実した教育ができる講師陣が揃っていることにより学生が学びやすい環境が整っていると自負しています。

○助産師国家試験受験資格
○受胎調節実地指導員
○新生児蘇生法「専門」コース
(Aコース)認定資格

信州短期大学部

さらなる発展を目指して

平成27年3月13日、42名の学生が学舎をあとに、高齢者介護施設、障害者施設等へ就職し、それぞれの道への第一歩を踏み出しました。2年間の学びを通して介護福祉士の仕事の意味、尊さ、厳しさを少しは理解したと思います。とはいえ、実際に利用者さんとその家族、施設の同僚、地域の関係者と接していくなかで、思い悩むことが多いことでしょう。

平成27年3月13日、42名の学生が学舎をあとに、高齢者介護施設、障害者施設等へ就職し、それぞれの道への第一歩を踏み出しました。2年間の学びを通して介護福祉士の仕事の意味、尊さ、厳しさを少しは理解したと思います。とはいえ、実際に利用者さんとその家族、施設の同僚、地域の関係者と接していくなかで、思い悩むことが多いことでしょう。



平成27年3月13日、42名の学生が学舎をあとに、高齢者介護施設、障害者施設等へ就職し、それぞれの道への第一歩を踏み出しました。2年間の学びを通して介護福祉士の仕事の意味、尊さ、厳しさを少しは理解したと思います。とはいえ、実際に利用者さんとその家族、施設の同僚、地域の関係者と接していくなかで、思い悩むことが多いことでしょう。

今こそ女性の一生を通して家族の成長支援を心がけ、将来を見据えた子育て世代の女性支援をして行くことが大切です。「助産師の手」を活かす場所を積極的に開拓し、活躍の場を広げることが助産師の社会貢献にもなります。

別科助産専攻では、出前講座として学生が高校に出向き、母子のつながりや命をテーマに授業やピアカウンセリングを行いました。地域の皆さまとのつながりも大事にしていきたいと考えています。気楽に声をお掛けください。

地域に根ざした介護人材の育成を使命とする本学ですが、介護福祉士を目指す志願者が減少している困難に直面しています。介護人材が必要であることは誰もが認めることです。若い世代に、特に中学生・高校生に、介護の仕事の尊さ、素晴らしさをどのように伝えていくかを模索しています。

事務局 だより

教務課

教務課は、日々の学修をより良くおこなえるように学生や教員を教学面から支援する部署です。大学での学びの可能性を自ら広げ、より充実した学生生活を過ごすとする学生を全力でサポートしています。

主な業務は次のとおりです。

- ①学籍に関すること(休学・退学・復学等の学籍異動の処理、学生記録票の保存・管理など)
- ②授業に関すること(教育課程・授業時間割の編成、シラバスの作成、授業日程・休講・補講等の管理、出欠管理、レポート等課題の受付、授業評価アンケートの計画・実施など)
- ③履修に関すること(履修登録・変更、履修者名簿の作成、履修指導・相談など)
- ④試験・成績に関すること(定期試験等の準備、成績の管理、既修得単位の認定など)
- ⑤学位審査に関すること

- ⑥研究倫理審査に関すること
- ⑦証明書に関すること(成績・卒業見込証明書等の発行、学生証の再発行など)
- ⑧資格取得に関すること(看護師等国家試験受験手続、介護福祉士資格登録、秘書士等資格称号認定、各種検定等)
- ⑨他大学との単位互換に関すること
- ⑩教育機器等に関すること(教育機器の貸出・管理WEBメール・連絡網システムの管理・運用、テキスト・教材など)
- ⑪その他教務に関すること

授業の履修や成績、その他教務に関することについて窓口で相談を受け付けています。

今後も学生の多様性を尊重し、教職協働して修学支援の更なる向上に努めて参ります。

佐久大学信州短期大学部が変わります

新しい介護の学び方

その1 コース選択制

その2 長期履修制度

佐久大学信州短期大学部では、これからの時代にさらに重要性を増す「介護」という仕事を担う人材を育てるため、より学びやすい環境を用意しました。



佐久大学信州短期大学部
学長 白井 汪芳

■超高齢社会で必要な福祉の視点

日本の「超高齢社会」という状況は、福祉という視点が社会のあらゆる領域に必要となることを示唆しています。

介護福祉士として専門的知識・技術を持って働くことはもとより、それ以外の職業でも「福祉の視点」を持つことが求められるようになるでしょう。高齢者も障がいがある人も、皆が暮らしやすい社会には「福祉の視点」が必要なのです。

■本学の新しい取り組み

本学では、これまでの介護を担う人材を育成するという使命はもろろんのこと、より広く福祉というものをとらえ、「福祉の視点」＝「福祉マインド」を持った人材を育てることに取り組みます。

そのために新しく「コース選択制」がスタートします。また、同じく今年度スタートする「長期履修制度」によって、学びのチャンスが広がるとともに、現在仕事を持っている人が、自分のキャリアに福祉マインドをプラスするという選択も可能になります。

ぜひ本学で、これからの社会で活躍する福祉マインドを持った職業人を目指してください。

学習プロセス&プログラム

	1年前期 (全員共通)	1年後期	2年前期	2年後期
教養科目	教養科目	福祉ケアコース	教養科目基礎(必修)以外は自由選択 介護福祉士資格科目は全科目必修(卒業要件)	
専門教育科目	専門教育科目	福祉ビジネスコース	教養科目基礎(必修)・教養(選択) + 資格(選択必修) 介護福祉士資格科目(選択)と卒業要件(必修)	

コース選択

コース選択制

超高齢社会で求められる人材の育成を図るためコース制を導入します。介護福祉士のみでなく、健康や福祉に関する分野にも視野を広げた幅広い学びを通して、福祉マインド(心・精神)を身につけるためのカリキュラムを用意しました。学生は1年次後期からコースを選択します。

- 福祉ケアコース／介護福祉士の国家資格取得を目指し、福祉施設、病院等で介護福祉士として活躍する人材を目指します。
- 福祉ビジネスコース／一般企業、公務員、福祉施設、病院等に活躍の場を求め、福祉マインドを備え、地域に貢献する人材を目指します。

通常の2年課程

1年次 教養科目と専門基礎科目 → 2年次 専攻教養科目と専門科目

長期履修3年のイメージ ※2年間の学費を3年間で分割

1年目 教養科目 専門基礎科目 → 2年目 専門基礎・専攻教養 専門基礎科目 → 3年目 専攻教養科目 専門科目

長期履修4年のイメージ ※2年間の学費を4年間で分割

1年目 教養科目 専門基礎科目① → 2年目 教養科目 専門基礎科目② → 3年目 専攻教養科目 専門科目① → 4年目 専攻教養科目 専門科目②

卒業資格と介護福祉士
国家資格取得

長期履修制度

さまざまな制約を抱える皆さんにも広く学びの機会を提供するため、2年という修業年限を超えて学ぶことができる制度を設けました。個人の事情に合わせて柔軟な履修計画を立て3年間あるいは4年間で卒業資格と介護福祉士国家資格を取得することができます。また、短期大学で学ぶ学費の総額は変わらないので、負担を軽減することができます。



台湾より研修生が来学し、日本の介護について勉強しました。

この事業は、平成26年12月1日に台湾のアジアン・ワイズと包括的連携に関する協定を締結し、最初に行った事業です。台湾の高齢化は、日本を追随するように急激に進んでいます。しかしながら台湾の現状は、介護サービスの質が低く、安心できる介護の環境や人材育成が整備されていません。このプログラムは、医療・福祉に従事しようとす

る学生を対象に、介護施設と人材養成施設で日本の介護知識と介護技術を体験し、台湾の介護環境の創成に取り組む人材を育てる目的で行いました。今回は、本学園と連携協定を締結する社会福祉法人ジェイエー長野会の特別養護老人ホーム「ローマンうえだ」の協力を得て、7名の介護研修生が佐久大学信州短期大学部での講義・演習と合わせて、約2週間充実した研修を行いました。

退職教員紹介

佐久学園で教育に携わった先生方から



大学院/看護学部
研究科長 教授 別所 遊子

八ヶ岳と浅間山を南北に望む佐久大学で、学部学生の教育と、大学院の開設当初から2期生4名を送り出す時期に関わることができました。一緒に仕事をしました教職員の方々、学生・院生の方々に心から感謝いたします。大学の今後のご発展をお祈りいたします。



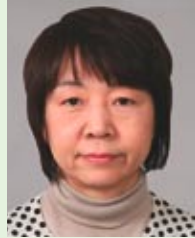
別科助産専攻/看護学部
准教授 木下 珠希

佐久大学に入職し2年半、47名の修了生を送り出すことができました。1学年15〜16人の助産師学生との関わりの中で私自身が多くの事を学びました。これも大学教職員の方々や関連施設の皆様の支えの賜物と心より感謝いたします。ありがとうございました。



看護学部/別科助産専攻
講師 臼井 淳美

平成23年より母性看護学の教員として4年間お世話になりました。充実した日々を過ごせたのは、佐久大学という職場の度量の大きさと教職員の方々の温かいご指導でした。心から感謝致します。最後になりましたが、佐久大学の益々のご発展をお祈り致します。



看護学部
助教 羽毛田 博美

私にとって佐久大学の設立は、看護学生時代に抱いた大きな夢を実現することでした。4名の準備室からスタートし、夢を実現するこの仕事にやりがいを感じていく日々でした。そして、この大学で働きながら大学院で学ぶことができたこと、これらの夢の実現の為に支えてくれた多くの方々に感謝したいと思います。



看護学部
助教 中嶋 尚子

開学から7年、無事に勤務できました。多くの皆様にご感謝申し上げます。教職員、学生、学食関係の皆様、実習研究協力施設と住民の皆様、浅間山、新幹線、熊のりくん、馬のファルコン……。いただいたものを大切に活かしていきます。それでは皆様お元気で！



看護学部
助手 小山 晶子

佐久大学に在職していた4年半は、今振り返ってみればあつという間だったように感じます。在職中は多くの皆様からご支援いただきましたこと、改めてお礼申し上げます。皆様のご健勝とご活躍を、佐久大学の益々のご発展をお祈り申し上げます。



信州短期大学部
教授 小林 啓志

私が赴任した1992年当時、小海線から大学キャンパスの間には広大な田畑があるのみ。それがオリンピック開催と新幹線開通を契機に大きく開発され、現在の街並みに変容しました。リアルタイムでその様子を見ていた者としては、魔法にかかれたような気分です。



信州短期大学部
准教授 加藤 みち代

介護福祉専攻開設から関わらせて頂き、9年間お世話になり、本当にありがとうございました。一人の役に「立ちたい」と志を高く持ったピュアな学生達と共に学び合えた時間は、私の人生にとってかけがえのない宝物です。佐久学園の発展を心より祈念しております。

卒業生・修了生

学生生活を振り返って



大学院看護学研究科
古越 小百合

仕事と学業の二重生活がスタートした時、私は不安で胸が一杯でした。しかし、応援してくれた職場の皆様、厳しくも優しい先生方、何よりも苦楽を共にした仲間を支えられ卒業することが出来ました。尊敬する先生、素敵な仲間と過ごせた時間は私の宝物です。



看護学部看護学科
原 結

大学では看護の勉強だけでなく、多くのことを先生方や友達から教わりました。振り返ると看護師を目指したことや、佐久大学で学べたことがよかったですと感じた経験が多くあります。また、これらの経験から、今後の課題や目標を見つけられたことも嬉しく思います。



別科助産専攻
井上 明珠

助産学実習では、個別性に対する看護、継続した助産師の関わりが必要であることを学びました。この1年間助産師としての使命とやりがいを見出し、より一層自分の看護の幅が広がったと思います。この学びを忘れずに、助産師としての一歩を踏み出していきたいです。



信州短期大学部
阿部 春香

2年間の短大生活はあっという間でした。学校生活、勉強、実習は楽しかったことばかりではありませんが、得たものはとても大きなものでした。楽しいことも、辛いことも一緒に乗り越えた仲間、支えてくださった先生方にとっても感謝しています。一生忘れることのない充実した2年間でした。

11/18 ブラバ大学看護学部と協定

佐久大学とブラバ大学看護学部が学術交流協定を結びました。学術的な共同研究の第一弾として、トヨタ財団から助成金を受けて、高齢者のヘルスケアに関する効果的な地域ネットワークの構築を行います。本学と佐久市、ブラバ大学とサンスク町が連携し、建設的な施策の検討を開始しました。



11/30 エイズ予防啓発活動

学生サークルさくびあが上田・佐久地区の保健師・検査技師とエイズ予防の啓発活動をイオンモール佐久平で行いました。



12/5 看護学研究発表

4年間の学びの集大成として、指導教官の下、自ら決めたテーマについて文献を収集、検討し研究としてまとめ発表しました。



11/11 立誓式

短大1年生が初めての介護実習を前に立誓式を行いました。



11/11 介護の日のつどい

長野市で開催されたイベントに短大生が参加し、盛岡理事長による講演等を聴講しました。



11/14 第2回SAKU看護管理研究会

東信地区の医療機関に勤務する看護管理者を対象に「SAKU看護管理研究会」を立ち上げました。隔月で開催しています。



11/17 エレベータ完成

2号館西側にエレベータが設置されました。



10/2 佐久市足育推進協議会設立

佐久市と佐久大学、佐久総合病院、企業などが連携し「足育」に取り組みます。佐久大学が事務局となります。



11/4 ぞっこん佐久市

「ぞっこんさく市」に、校友会と教職員が「健康テーマパーク」フットケア、救護班等の催しに参加しました。



11/2 大学祭

第7回秋祭祭(佐久大学)・第27回信陽祭(佐久大学信州短期大学部)が開催されました。



平成27年度 研修等のお知らせ

佐久大学喀痰吸引等研修

下記の日程にて実施する予定です。詳細は募集開始後に本学および長野県のホームページに掲載いたします。

募集期間/平成27年7月1日(水)~7月17日(金)

定員/50名

研修期間/基本研修・講義 8月5日(水)~28日(金)のうち7日間

基本研修・演習 9月2日(水)、3日(木)

教員免許状更新講習

下記の日程で実施を計画しています。募集要項・申込書は5月中旬以降に本学ホームページに掲載いたします。

募集期間/平成27年5月18日(月)~7月3日(金)

定員/40名~100名 ※講習により定員が違います。

講習日程/必修科目 8月30日(日)、9月5日(土)

選択科目 8月2日(日)~6日(木)、9日(日)、22日(土)、23日(日)、9月6日(日)

臨地実習指導者研修セミナー

8月最終週の3日間で予定しています。詳細は決まり次第本学ホームページに掲載いたします。

お知らせ

2015オープンキャンパス

■佐久大学・

佐久大学信州短期大学部 同時開催

6/27(土)、8/8(土)、8/29(土)

11:00~16:00

全体説明会/ランチ体験/キャンパスツアー/
看護・介護体験/在学生との懇談/模擬授業など
※大学院・別科助産専攻の進学相談も同時開催します。

■佐久大学信州短期大学部のみ開催

5/9(土)、7/18(土)、9/12(土)

※詳細は本学ホームページで随時ご案内いたします。



2/28 2200教室リニューアル

平成26年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業による教室整備を行いました。



3/13 卒業式・卒業パーティー



3/14 修了生を祝う会



3/27 丸子修学館高校と連携協定

佐久大学信州短期大学部と丸子修学館高等学校は連携協定を結びました。



1/21 出前授業

別科助産専攻の学生が野沢南高校2年生に「大切にしよう～自分と相手と命～」と題し出前授業を行いました。



1/29 ジェイエー長野会と連携協定

学校法人佐久学園と社会福祉法人ジェイエー長野会との連携に関する協定書の調印式が執り行われました。



2/22 ロックソーラン

地域交流サークルの学生9名が、浅間地区公民館のつどいに参加し、地元グループの方と一緒にロックソーランを披露しました。



2/26 出前授業

学生サークルさくびあが北御牧中学校2年生に「考えよう!産むこと産まないこと」というテーマで出前授業を行いました。



12/5 ぴんキラ★ランチ

佐久市が普及に取り組む健康長寿食「ぴんころ食」が、「ぴんキラ★ランチ」として本学食堂のメニューに登録しました。



12/9 クリスマスカード

学生・教職員の協力によりクリスマスカード453枚が完成し、浅間総合病院看護部に届けました。



12/11 クリスマスコーラス

佐久総合病院佐久医療センターにて行われたクリスマスコンサートに学生が参加しました。



12/16 第32回佐久地区ボランティア地域活動フォーラム

学生と教員が第32回佐久地区ボランティア地域活動フォーラムに参加し、佐久地域の防災力について考えました。



12/20 事例研究発表会

短大生が2年間で行った実習の成果として、介護計画の立案過程や実施計画、課題等をまとめて発表しました。



介護環境改善研究事業

佐久大学信州短期大学部では、平成26年度長野県・大学地域連携事業補助金採択事業として「介護環境改善研究」事業を行いました。



平成26年度 主な実施事業

■平成26年9月6日(土) 第3回 介護環境改善研究会

■認知症の理解 公開連続講演会

第1回「画像でわかる認知症診断」

第2回「認知症の症状と診断」

第3回「認知症ケア」

第4回「やさしさを伝えるケア技術～ユマニチュード～」

平成27年度 継続予定事業

平成27年度はさらに介護職者や介護に携わる人の介護技術支援や生活支援技術の改善・向上につなげることを目的に事業を行います。

①介護環境改善研究会

②介護環境改善講演会：テーマ「認知症の予防」

③介護福祉機器展の視察

④新しい介護福祉用具の開発

⑤介護機器・用具の紹介、支援技術の指導・公開

※詳細は本学ホームページ等でお知らせします。

校友会から

あいこちゃん募金 報告



心臓移植手術が必要なお松愛子ちゃんのため、10月中旬から11月1日・2日の大学祭まで募金活動を行いました。大学祭にご来場の皆様と学生・教職員の募金、大学祭実行委員会の模擬店売上を合わせ、募金総額は114,061円となり、あいこちゃんを救う会事務局へ大学祭実行委員長より手渡しました。大勢の皆様にご協力いただき本当にありがとうございました。

同窓会から

佐久大学同窓会「秋桜会」定期総会が開催されました

平成27年3月14日(土)、平成26年度卒業式後に第4回入会式と第5回総会が行われました。総会での議案も全て議決承認されました。これから、秋桜会として様々な企画を通して同窓生だけでなく、在学生や地域の方々との交流の場を増やしていければと考えています。皆さんの御協力をお願いします。

- 役員紹介 会長 浅野 祐樹 副会長 青木 友香理
- お知らせ 氏名・住所・勤務先等、登録情報に変更がありましたら下記まで、連絡をお願いします。また、同窓会へのご意見・ご要望等もお寄せください。

秋桜会事務局(学生課) 電話 0267-68-6680 E-mail.cosmos@saku.ac.jp

平成26年度 国家試験受験状況

(新卒者)	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
第104回看護師	82名	78名	95.1%	95.5%
第101回保健師	81名	81名	100.0%	99.6%
第98回助産師	15名	15名	100.0%	99.9%

「みんなで合格100%!に比べられなかった」と不合格者が異口同音に語った。全員合格まであとわずか。難化傾向の国家試験対策には、勉強姿勢とくに丸暗記でない、看護専門職としての根拠に基づいた判断力が育つ日頃の学びが欠かせません。大学では国家試験の合格と学びの喜び・深化とが表裏一体となるよう学習支援しています。

平成26年度 進路一覽

看護学部看護学科

【就職】小諸厚生総合病院/北アルプス医療センターあづみ病院/北信総合病院/佐久総合病院/篠ノ井総合病院/下伊那厚生病院/新町病院/長野松代総合病院/富士見高原医療福祉センター/鹿教湯三才山リハビリテーションセンター/浅間総合病院/飯田市立病院/相澤病院/信州大学医学部附属病院/長野県立阿南病院/長野県立こども病院/長野赤十字病院/諏訪赤十字病院/健和会病院/長野中央病院/長野市民病院/小諸高原病院/新生病院/市立甲府病院/山梨県立中央病院/山梨大学医学部附属病院/あさひの丘病院/川崎幸病院/藤沢市民病院/日本医科大学附属病院/昭和大学病院/春日部中央総合病院/名古屋医療センター/佐久市/小諸市/山形村/東京都福祉保健局

【進学】佐久大学別科助産専攻

別科助産専攻

【就職】丸の内病院/聖路加国際病院/小諸厚生総合病院/市立甲府病院/飯山赤十字病院/北信総合病院/JA広島総合病院/佐久総合病院佐久医療センター/長野松代総合病院/上越総合病院/柏崎総合医療センター/長野中央病院/篠ノ井総合病院/北信総合病院

佐久大学信州短期大学部

【就職】シルバーランドみつい・きしの/佐久愛の郷/のべやま/りんごの郷/ローマンうえだ/うつくしの里/千曲園/いこい/佐久福寿園/恵仁会/さくら苑/コンフォート岡田/結いの家/御代田町社会福祉協議会/須坂やすらぎの園/やすらぎの園/さくら/鹿教湯三才山リハビリテーションセンター/鹿教湯病院/メディピア小諸/北アルプス医療センターあづみ病院/佐久療養園/グループホームせせらぎ/陽だまりの家/ハートフルケアたてしな/ゼビオ株式会社

キャリア支援

学生の夢や目標を具体的に実現するためのサポートを行なっています。

入学から卒業までの間に段階的に目標を設定しそれに合わせたプログラムを実施します。マナーや履歴書の書き方等実践的な講座も行なっています。



編集後記

『佐久の薫風』第2号を発売して、第3号からの編集に思いが馳せます。

年2回発行の限られた紙面ですが、佐久学園の教育・研究・地域連携活動の様子をお伝えします。学園が未来に描く夢を実現する楽しさ、喜びを皆様と共有できる編集をめざしています。

記事の組み立てや内容などに対する皆様の厳しい意見が励みです。多くの協力を頂いて、期待に応えられる編集ができるように心がけていきます。(M)